

一般財団法人 世田谷コミュニティ財団

設立記念助成プログラム

“ココロマチ”



～農ある世田谷は実りを増やす～

世田谷コミュニティ財団が、財団法人設立を記念し行う今回の助成プログラム。

テーマは「都市の農」です。

都市にあるものは、住宅や商店や事業所だけではありません。

その都市を支えてきた背骨としての自然環境があります。「農」は、自然環境であるとともに、先人から引きついできた生活そのものでした。

私たちは、世田谷コミュニティ財団が発足して初めての助成プログラムを

この「農」に据えたいと考えました。都市型コミュニティ財団として、

私たちが目指すべきは、世田谷の宝を守ること、守るための担い手を発掘し、ともに成長していくことだと考えます。

誕生を“ココロマチ”にしていた設立記念助成プログラム、

ぜひ寄付で応援していただけませんか？

寄付者・
応援者
募集！

世田谷コミュニティ財団とは何か

世田谷コミュニティ財団は、東京都で初の本格的な都市型コミュニティ財団です。2018年4月に、387名の設立寄付者の支援のもと、誕生しました。私たちは社会課題の解決や新たな価値の創造につながる公益活動を広く支え、必要な資源の仲介を行い、社会を構成するすべての主体が公益を支える仕組みを構築することを通じて、「まちを支える生態系」を育むことを目的としています。

なぜ農なのか、なぜ今なのか

今、都市農業の存続があらためて問われています。都市の農地が失われていく一方で、先祖代々の土地を積極的に手放したいと考えている農地の所有者は殆どいません。そして私たちは失われる農に無関心ではられません。

2018年、都市農地に関わる二つの大きな制度改革が行われました。改正には1.生産緑地の指定下限面積の緩和、2.農地として見なせる範囲の弾力的な運用、3.賃貸借規制の緩和などが含まれます。この制度改革の動きそのものが、都市農業の危機の反映と考えることもできます。

世田谷コミュニティ財団では、この取り組みに賛同し、寄付によって応援して下さる方を募集しています。

世田谷コミュニティ財団が初めてお届けする助成プログラム。

世田谷の農のこれから、都市のコミュニティのこれからを支える取り組みです。皆さんぜひ、寄付で応援して下さい。

寄付の方法

1. クレジットカード

世田谷コミュニティ財団Webサイトから、オンラインにて決済可能です。
QRコードから財団Webサイトへ移動してください。

2. 銀行振込・郵便振替

フォームから必要事項をご記入頂いた上で、指定の口座から手続きをお願いします。
同じくQRコードから財団Webサイトへ移動頂くことが出来ます。

3. 現金

- 持参：メールかお電話にて事務局と日程調整いただいた上で、現金と以下の申込用紙をご持参ください。
- 郵送：現金書留で、現金と申込用紙を事務局へご郵送ください。

シェア・リツイートも歓迎です。

FB : <https://www.facebook.com/scf.tokyo/>

Twitter : https://twitter.com/scf_tokyo

URL : <https://scf.tokyo/>



助成・
協働先
募集!

一般財団法人 世田谷コミュニティ財団

設立記念助成プログラム



“ココロマチ”

～農ある世田谷は実りを増やす～

世田谷コミュニティ財団が、財団法人設立を記念し行う今回の助成プログラム。

テーマは「都市の農」です。

都市にあるものは、住宅や商店や事業所だけではありません。

その都市を支えてきた背骨としての自然環境があります。「農」は、

自然環境であるとともに、先人から引きついできた生活そのものでした。

私たちは、世田谷コミュニティ財団が発足して初めての助成プログラムを

この「農」に据えたいと考えました。都市型コミュニティ財団として、

私たちが目指すべきは、世田谷の宝を守ること、守るための担い手を

発掘し、ともに成長していくことだと考えます。

誕生を“ココロマチ”にしていた設立記念助成プログラム、

助成先として応募する、採択後に協働することで、

共に価値を創出しませんか?

助成概要

1 助成期間

2019年6月1日～2020年5月31日

2 助成金額・総額

1団体あたり100万円(上限)・総額300万円

3 対象となる事業

世田谷の「農」を守り育てるための課題の発掘、その課題解決のために必要な調査、ビジョンの作成、およびそのビジョンを実現するための戦略立案、試行的事業(パイロット事業)の実施。
※単発のイベントや試行的事業のみの活動は対象としません。

4 対象となる組織

- (1) 世田谷の「農」を継続的に守り育てることを通して、地域のコミュニティを育み、まちを支える生態系をつくる活動に取り組む団体やグループであること(連合体を含み、法人格は問わない)
- (2) 代表者もしくは主要メンバーに、提案内容に即した過去の活動実績があること
- (3) 農家と真剣にコミュニケーションをとり、活動に取り組めるグループであること
- (4) 財団と常にコミュニケーションをとり、財団が指定する伴走者(プロボノ)とともに企画・調査をブラッシュアップする柔軟性を持ち合わせていること
- (5) 活動の成果について説明する意思を持ち、財団が求める成果報告等について協力する姿勢を持つこと

5 選考基準

- (1) プロジェクトの目的が助成事業の趣旨と合致しているか
- (2) ビジョン作成にあたり必要な調査が計画されているか
- (3) 調査を行うメンバー、スケジュール、予算が適切であるか
- (4) 調査が継続的な事業につながるか
- (5) 財団やプロボノ人材と共に、成果発揮に向けて柔軟にコミュニケーションする意思があるか

詳細情報および相談・問い合わせ先

〒158-0094 東京都世田谷区玉川2-21-1 二子玉川ライズ・オフィス8階 カタリストBA

TEL:03-4405-2022 FAX:020-4664-1218

E-mail:setagaya@scf.tokyo URL:https://scf.tokyo/

